

JIS

液化石油ガス（LP ガス）

JIS K 2240 : 2023

(JLPGA/JSA)

令和 5 年 11 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 化学・環境技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	千葉 光 一	関西学院大学
(委員)	阿部 明 美	一般社団法人日本ゴム工業会
	上野 博 子	一般財団法人化学物質評価研究機構
	上野 祐 子	中央大学
	大野 香 代	一般社団法人産業環境管理協会
	小川 修	一般社団法人日本塗料工業会
	栢 英 則	日本プラスチック工業連盟
	下鍋 達 也	公益社団法人自動車技術会
	永田 淳	一般社団法人日本分析機器工業会
	野中 玲 子	一般社団法人日本化学工業協会
	花村 美 保	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	林 英 男	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	三浦 安 史	石油連盟
	山崎 初 美	主婦連合会
	山田 美佐子	一般財団法人日本消費者協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 32.4.26 改正：令和 5.11.20

官 報 掲 載 日：令和 5.11.20

原 案 作 成 者：日本 LP ガス協会

(〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-14-1 郵政福祉琴平ビル TEL 03-3503-5741)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：化学・環境技術専門委員会 (委員長 千葉 光一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 種類	3
5 品質	3
6 試験方法	3
6.1 試料採取方法	3
6.2 蒸気圧試験方法（実測法）	6
6.3 蒸気圧試験方法（計算法）	12
6.4 硫黄分試験方法（微量電量滴定式酸化法）	13
6.5 硫黄分試験方法（紫外蛍光法）	20
6.6 密度試験方法（実測法）	28
6.7 密度試験方法（計算法）	32
6.8 組成分析方法（ガスクロマトグラフ法）	33
6.9 銅板腐食試験方法	41
6.10 試験を行うときの注意事項	47
7 製品の呼び方	48
8 表示	48
9 使用上の注意事項	48
附属書 JA（規定）液化石油ガスの密度・質量・容量換算表	50
附属書 JB（参考）JIS と対応国際規格との対比表	91
解 説	94

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本 LP ガス協会（JLPGA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS K 2240:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

液化石油ガス (LP ガス)

Liquefied petroleum gases

序文

この規格は、1984年に第1版として発行された ISO 3993、1996年に第2版として発行された ISO 4256、2001年に第2版として発行された ISO 4257、1996年に第2版として発行された ISO 6251、1988年に第1版として発行された ISO 7941、1997年に第1版として発行された ISO 8973 及び 2020年に発行された Amendment 1 並びに 2013年に第2版として発行された ISO 9162 を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書 JB に示す。さらに、6.6 を補足するため、対応国際規格にない液化石油ガスの密度・質量・容量換算表を附属書 JA に示す。

1 適用範囲

この規格は、家庭用、業務用、工業用、自動車用などの燃料及び工業用原料に用いる液化石油ガスについて規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 3993:1984, Liquefied petroleum gas and light hydrocarbons—Determination of density or relative density—Pressure hydrometer method

ISO 4256:1996, Liquefied petroleum gases—Determination of gauge vapour pressure—LPG method

ISO 4257:2001, Liquefied petroleum gases—Method of sampling

ISO 6251:1996, Liquefied petroleum gases—Corrosiveness to copper—Copper strip test

ISO 7941:1988, Commercial propane and butane—Analysis by gas chromatography

ISO 8973:1997, Liquefied petroleum gases—Calculation method for density and vapour pressure + Amendment 1:2020

ISO 9162:2013, Petroleum products—Fuels (class F)—Liquefied petroleum gases—Specifications (全体評価：MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

警告 この規格に規定されている液化石油ガスの取扱い・使用においては、適切な予防措置を講じない場合には危険を伴うおそれがある。この規格では、液化石油ガスの使用に伴う安全性の全てについて説明することは意図していない。この規格の利用者は、各自の責任において用いる前に、関連法規に適合した運用を規定し、安全及び健康についての適切な予防措置を取らなければならない。